

プロフィール(プレゼンテーション)



ミシェル・ブシャード カルトレイン コロナ対策臨時エグゼクティブ・ディレクター

全米で 7 番目に乗降客数の多い通勤電車であるカルトレインのコロナ対策臨時エグゼクティブ・ディレクター。Caltrain 社は、ギルロイからシリコンバレーを経由しサンフランシスコまで鉄道サービスを提供しており、2 つの主要な乗り換えターミナルを含む 32 の駅で世界最大級の事業規模を誇る。パンデミック前の平日の平均利用者数は 6 万 5 千人、運営予算は 1 億 7500 万ドル以上。電化プロジェクトは完了間近で、2040 年までに 1 日 18 万人以上の乗客を運ぶというビジョンを採択している。彼女のリーダーシップのもと、鉄道事業は順調に業績を伸ばし、広範囲に拡大しており、今後もさらなる成功が期待されている。ブシャード氏は在職中、ポジティブトレインコントロールの導入、EMU (Electric Multiple Unit) の調達、19 億 8,000 万ドルの電化プロジェクトなどを主導し、その一方で定時性を維持し、利用者数を増やしてきた。



ブシャード氏は公共交通業界で 25 年以上の経験を有する。カルトレインの鉄道部門に 14 年間在籍し、急行サービス "Baby Bullet" の企画・実施に携わり、利用者数の大幅な増加に貢献。その後、BART (Bay Area Rapid Transit District) のグループマネージャーとして、eBART と Oakland Airport Connector のプロジェクトを指揮。2015 年に最高執行責任者 (COO) としてカルトレインに復帰し、2021 年 4 月に史上初のエグゼクティブ・ディレクターに昇格した。2018 年には、その経験、リーダーシップスキル、業界への貢献、コミュニティサービスが評価され、Railway Journal 誌の「Women in Rail」の 1 人に選出。

ブラウン大学で経済学の学士号を、ロンドン・スクール・オブ・エコノミクスで都市・地域計画の修士号を取得。